

第3学年国語科学習指導案

単元名 せつめい^{じょうず}上手になろう

教材名 「すがたをかえる大豆」 国分 牧衛 作（光村図書 小学校3年下）

1 単元について

(1) 児童観

児童は、教材文「ありの行列」の学習を通して、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係をとらえる経験をしてきている。しかし、経験はしてきているものの、説明的な文章を読み取る力が十分だとは言えず、繰り返し使っていくことで確かな読む力になると思われる。また、児童は比較的短い文章を書くことに慣れており、読み取った内容を短くまとめる活動は容易にできる。一方、作文のように長い文章にまとめる際に、文章の構成を考え、分かりやすくまとめることができる児童は少ない。相手を意識し、分かりやすくまとめる方法について学び、経験を積んでいく必要があると考える。

(2) 教材観

本単元は、「読む」力と「書く」力を同時に高めることを目的として設定する。教材文「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたものである。大豆からできた食品は、児童にとっても身近なものである。しかし、目で見て大豆からできているとは思われないものも多く、児童にとっては意外性をもって知ることの喜びを味わえる内容になっている。文章は、大豆からできたそれぞれの食品について、「手のくわえ方」「工夫」という視点から書かれている。この教材に書かれている食品の順序は、具体的には、いり豆、煮豆、きなこ、納豆、豆腐、みそ、しょうゆ、枝豆、もやしの順になっている。手のくわえ方が簡単なものから複雑なもの、形や色が大豆に近いものからそうでないもの、最後に取り入れ方や育て方を工夫したものという順序になっている。説明文を書く際に意識すべき、説明する順序や文章の構成を学ばせるには適した教材であると言える。

(3) 指導観

本単元においては、記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う言語活動として、身近な食べ物について本を書き、読み合う活動（「C読むこと（2）ウ）を行う。

指導に当たっては、「すがたをかえる大豆」の細かな内容の読み取りはせずに、複数の食べ物にかかわる読書活動に時間を掛け、複数の作文を書くことを大切にしたい。そこで、「すがたをかえる大豆」の文章内容を大まかに読み取り、「はじめ」（対象物の提示）、「中」（例を挙げての説明）、「終わり」（まとめ）の文章構成になっていることに気付かせる。説明的文章を書く際には、三部構成で書けることを理解させ、文章を書く際に活用できるようにしていく。そして、はじめの部分では問いのあることの効果、中の部分では例を挙げての説明の仕方を読み取らせていく。特に、例を挙げての説明の部分では、指示語や接続語、同じような言葉を使った書きぶりなどに目を向けさせる。終わりの部分では、筆者の考えが書かれていることに気付かせ、自分の考えをまとめて書けばよいことを学ばせる。

書く段階では、調べたい食べ物がすがたをかえていく様子を情報カードにまとめさせ、それを基にして、構成メモを書かせることでどのようにして説明するのかを考えさせる。児童は、「すがたをかえる大豆」で学習したことを生かして文章に表現しながら、「説明上手」になるために本を作成する。複数の作文を書いて本にまとめることで、児童には、本が出来上がった満足感を味わわせるのと同時に、相手を意識した文章の構成を学ばせたい。なお、書く段階では、何度も書かせていくことで、説明文を書くことに慣れさせたい。

2 単元の目標

身近な食べ物のすがたのかえ方に興味を示し、他の食べ物について意欲的に調べることができるようにする。

中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読むことができるようにする。

読み取ったことを基に、段落相互の関係を明確にしたり、分かりやすく説明するために事例を挙げたりして書くことができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 食べ物のすがたのかえ方について興味をもち、図書資料などを基に意欲的に調べ、本にまとめようとしている。
イ 書く能力	1 自分が選んだ食べ物について書くことを決め、相手や目的に応じて、必要な事柄を調べることができる。【B書くこと(1)ア】 2 「はじめ」、「中」、「終わり」の三部構成で説明的文章を書こうとしている。【B書くこと(1)イ】 3 書いた本を読み合い、文章の構成や表現の仕方等について意見を述べようとしている。【B書くこと(1)カ】
ウ 読む能力	1 「はじめ」、「中」、「終わり」の三部構成やすがたを変えていく大豆についての説明の仕方等を読むことができる。【C読むこと(1)イ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 句読点を適切に打ち、また、段落の始めの部分は行を改めて書くことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(エ)】 2 指示語や接続語が文と文とのつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ク)】

4 指導と評価の計画（全17時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	「すがたをかえる大豆」の全文を読み、学習課題を決める。	・身の回りの食べ物の変化について興味をもたせ、説明が上手になるように、教材文から書き方を学んでいくという課題へとつなげていく。	ア - 1 学習課題を決めるために、積極的に話し合うとしている。〔発言及び行動観察〕
	2	学習課題を確認し、課題を解決するための学習について話し合う。	・調べた食べ物について説明する文章を書くために、教材文から書き方を読み取っていくことを意識しながら計画表を作成させる。	ア - 1 学習計画を進んで話し合い、学習の見通しを計画表に書いている。〔ワークシートの記述及び発言〕
二	3 (本時)	「すがたをかえる大豆」の全文を読み、文章の組み立てを読み取る。	・段落に小見出しを付けて、文章の組み立てを考えさせる。	ウ - 1 段落相互の関係を考え、文章の構成を説明したり、書き表したりしている。〔ワークシートの記述・発言〕
	4	「はじめ」の部分の書き	・サイドラインを引いた叙述を基	ウ - 1 「はじめ」の部分

	方を知る。	に、「はじめ」の部分は、筆者が大豆がいろいろなすがたで食べられているという話題提示をしていることに気付かせる。	に、筆者が何をどのように書いているのかを読み取っている。〔ワークシートの記述・発言〕
5	おいしく食べるためのくふうを読み取り、「中」の部分の書き方を知る。	・「つなぎのことば」、「おいしく食べるくふう」、「食品」、「作り方」について、表を使って内容を整理させながら読み取らせる。	ウ - 1 「中」の部分はいくつに分かれているか読み取って、ワークシートに整理したり発言したりしている。〔ワークシートの記述・発言・観察〕 エ - 2 接続語や指示語の使われ方を理解している。〔ワークシートの記述・発言〕
6	「終わり」の部分を読み、まとめ方や自分の考えの書き方について知る。	・「終わり」の部分に書かれている内容は、筆者の意見なのか事実なのかを区別させながら読み取らせる。	ウ - 1 「終わり」の部分に、筆者が何をどのように書いているのかを読み取って、ワークシートに整理したり発言したりすることができている。〔ワークシートの記述・発言・観察〕
三	7 調べたい食べ物について図書資料などで調べる方法を理解し、情報カードに必要なことをまとめる。	・選んだ食べ物について、知りたいことや疑問に思うことを書き出させ、どんなことを調べるのかを決めさせる。 ・本での調べ方、情報の記録の仕方など、調べるときに気を付けることを教科書の中から見付け出させる。	イ - 1 調べたい食べ物について、教科書の例を基にして、調べる項目を決めることができている。〔ワークシート及び情報カードの記述・観察〕 イ - 1 必要な情報を、図書資料などを使って調べる方法を知ることができている。〔ワークシート及び情報カードの記述・観察〕
8	図書資料などで調べたことを情報カードに書く活動を通して、その書き方を理解する。	・前時に学習した情報カードの書き方を実際に書かせることで理解させる。	イ - 1 必要な情報を図書資料などを使って調べる方法や情報カードへの記入の仕方について理解している。〔ワークシート及び情報カードの記述・発言〕
9	自分が調べたい食べ物について図書資料などで調べ情報カードを作る。	・情報カードの例示や友達のカードの書き方を参考にさせて、書き方に慣れさせる。	イ - 1 自分が決めた項目について調べ、情報カードに記入することができている。〔情報カードの記述〕
10	情報カードを基に構成メモを作る。	・相手に分かりやすく伝えるには調べた内容をどのような順番で	イ - 2 情報を整理し、文章の構成を考えている。〔ワ

		書くのかを考え、構成メモを作らせ、短い文章にまとめさせる。	ークシートの記述]
11 12 13 14 15	調べた食べ物について学習した書き方を生かして、説明する文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「すがたをかえる大豆」のはじめの書き方や中の部分の接続語の使い方などを参考にさせて作業を進めさせる。 	<p>イ - 2 「はじめ」、「中」、「終わり」の三部構成で文章を書いている。[ワークシートの記述]</p> <p>エ - 1 句読点を適切に打ち、段落の始めの部分は行を改めて書いている。[ワークシートの記述]</p> <p>エ - 2 文と文のつながりに注意して、接続語や指示語を正しく使うことができている。[ワークシートの記述]</p>
	他の食べ物についても、図書資料などで調べて、説明する文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・この活動については、児童の実態に応じて取り組ませる。 ・情報を取り出し、情報カードに記入させる際、できるだけ短い文章で書くように指示する。 ・相手に分かりやすく伝えるには調べた内容をどのような順番で書くのかを考え、構成メモを作らせ、短い文章にまとめさせる。 ・「すがたをかえる大豆」のはじめの書き方や中の部分の接続語の使い方などを参考にさせて作業を進めさせる。 	<p>イ - 1 自分が決めた項目について調べ、情報カードに記入することができている。[情報カードの記述]</p> <p>イ - 2 書く内容の順番を決め、構成メモを書いている。[ワークシートの記述]</p> <p>イ - 2 「はじめ」、「中」、「終わり」の三部構成で文章を書いている。[ワークシートの記述]</p> <p>エ - 2 文と文のつながりに注意して、接続語や指示語を正しく使っている。[ワークシートの記述]</p>
16 17	短い文章にしたものを集め、一冊の本にまとめる。お互いに評価し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで1冊の本にまとめさせる。 ・自分で調べた内容を本にすることで、達成感を味わわせる。 ・友達の本を読み合わせることで取り上げた食べ物の違いや説明の仕方について評価させる。 	<p>ア - 1 友達と協力しながら意欲的に本作りに参加しようとしている。[発言・観察]</p> <p>イ - 3 文章の構成や表現の仕方等について意見を述べている。[自己評価カード、発言・観察]</p>

5 本時の指導（3 / 17）

（1）目標

段落のつながりに留意しながら，説明文の構成を読み取ることができる。

（2）本時の展開

学習活動	指導上の留意点と評価
<p>1 学習計画表から本時のめあてを確認する。</p>	<p>「説明上手」になるために、「すがたをかえる大豆」の書き方を読み取っていくことを確認させ、本時のめあてにつないでいく。</p>
<p>だんらくのつながりを考えて、文しょうの組み立てを読みとろう。</p>	
<p>2 教材文「すがたをかえる大豆」を形式段落に分け、小見出しを付ける。</p>	<p>小見出しは、段落の内容を題名のように表したものであることを確認する。 いくつかの段落の小見出しの付け方を全体で考えさせる。 題名に関する語や文，繰り返し出てくるキーワードに着目させ、線を引いて考えると分かりやすいことや段落の初めや終わりの部分に、小見出しの要素が含まれていることを押さえる。</p>
<p>3 「はじめ」「中」「終わり」の意味段落に分ける。</p>	<p>小見出しや文章の叙述を手掛かりに、それぞれの段落が、「はじめ」「中」「終わり」の3つの意味段落に分けさせる。 意味段落に分けさせる際、分けた理由を基に考えを交流させることで、文章の構成をとらえさせたい。 2の段落は、「はじめ」か「中」かを迷うことが予想されるため、前後の段落の内容を押さえながら考えさせることで意味段落の役割をとらえさせる活動へとつなげていきたい。</p>
<p>4 「はじめ」「中」「終わり」の役割を考える。 「はじめ」...大豆についての話題を提示している。 「中」...大豆をおいしく食べるくふうを分かりやすい順に説明している。 「終わり」...全体をまとめている。</p>	<p>黒板に整理した、それぞれの意味段落の小見出しに共通する内容を考えさせることで、「はじめ」「中」「終わり」の役割を気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 段落相互の関係を考え、文章の構成を説明したり、書き表したりしている。 〔発言及びワークシートの記述〕</p> </div>
<p>5 本時を振り返り、次時の学習について知る。</p>	<p>学習した文章の組み立てについて、振り返らせることで、自分の本作りに生かしていけるものであることを確認させる。 学習計画表で、次時は内容を詳しく読み取っていくことを確認させる。</p>